連携講座レポート　第1号　2018.5.15

中高生の科学研究実践活動推進プログラム

最終年度活動スタート！

校内発表会を実施しました

４月２５日（水）７限　会場：２年６組教室
発表者：３年６組代表５名
参加者：２年６組２８名
指導者：門口

「中高生の科学研究実践活動推進プログラム」は今年度、３年目を迎えました。３年間のプログラムの最終年度となります。今年度の活動の中心となる２年６組に向けて、昨年度の活動の中心であった３年６組の代表者が昨年度の活動成果を発表しました。

初年度よりも発展した活動内容が発表され、２年６組の生徒たちは、自分たちのこれからの活動がイメージできたことと思います。

ＪＳＴ来訪

５月７日（月）１５：００～１６：３０　会場：本校応接室

参加者：磯部校長、門口、家根谷、原井川

科学技術振興機構から調査役日紫喜様、主任調査員川口様をお迎えし、本校の現状を報告したり今後の研究活動のアドバイスをいただいたりしました。直接お会いして意見を交換したことで、安心感や活動の方向づけ等を得て、大変有意義な時間となりました。

教員向け講座「アクティブラーニングのためのファシリテーション講座」

５月１５日（火）１５：５５～１６：５５　会場：本校図書室
講師：名古屋文理大学情報メディア学部情報メディア学科教授　栗林芳彦先生
参加者：本校教員２５名

「ブレーンストーミング」「ブレーンライティング」「ゴードン法」「ＫＪ法」を中心に、生徒のアイディアを引き出し、まとめる極意を教員が学びました。本プログラムの研究テーマ決定のみならず、文化祭等様々な学校生活の場で利用していきたいと思います。

今後の予定

科学研究実践活動の継続　３年６組代表者「管楽器の衛生」
理科部「トマトの糖度・酸度と季節との関係」「雲の発生と空気の流れ」
科学研究実践活動　新テーマ決定　２年６組
名古屋文理大学講座（７～１２月）　２年６組
名古屋市科学館講座（１０月ごろ）　２年６組
研究発表会（ＪＳＴ東京本部にて　１０月２０～２１日）３年６組代表者
研究発表会「科学三昧 in あいち 2018」（岡崎にて　１２月下旬）理科部　２年６組代表者